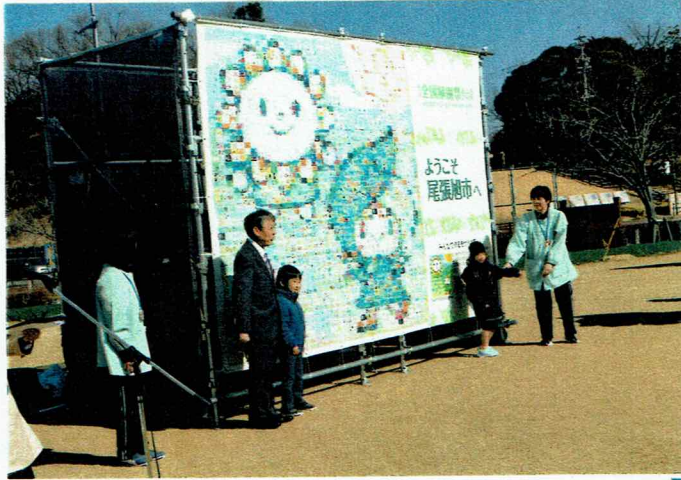


環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市澁川町三丁目5番地7
 (澁川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

「モザイクアートの除幕式は、あたる保育園の年長組の2人、この2人は2月生まれです。」



平成31年2月23日
 モザイクアート
 (尾張旭市) 完成
 あたる保育園年長組がモザイクアートのお披露目式に寒い風の中、元気の歌声を披露した。
 1481枚の森がきんちんが描かれたモザイクアートとキヤメラ「あさぴ」が除幕されると会場から拍手と歓声が上がった。

この日は朝から強い風が吹いて、したが子供達は風の子、大きな声で元気な歌をうました、おぼろしい

①の字裏
 植樹祭に使う木で組立てる、アライスター

モザイクアートは縦27m横4m、森林公園南門交差点に掲示されています。



金五材料に作ってもうおとしいう動きが、研究者の間には、たえば、携帯電の部品に含ませる金が含まれる、金の量は、三十三万個の不用携帯電が、金メダル約4三百個

児童文学の「ハリ」ホックリなどでおなじみの賢者の石とは中世ヨーロッパなどの錬金術師が追求めた万能の霊薬である。「不老不死の効果があり、これがあれば鉛などの卑金属を金や銀の貴金属に変えることができる」と信じられていた研究者によると「賢者の石」を作るカギを握ると信じられていた物質がある。たゞ当時の錬金術教本には「それは通りに投げ捨てられていく」「誰も貴重なものとは思っていない」と謎めいた言葉があるそう、その投げ捨てられている物質が浮かぶ金の話である。二〇二〇年の東京五輪で選手に贈る金メダルこれらを廃棄家電の部品に含ませる



金の金を確保できるといふ。それは通りに投げ捨てられるわけではなく、不用家電からの錬金術である。